

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」は、県内各地域の住民が充実した医療・教育などの都市的サービスを受け、また、雇用の機会を得られるよう都市機能の整備と再生を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 30 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 29.2%、低認知度群は 70.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（31.9%）が女性（26.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（42.6%）が 65 歳未満（24.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（35.8%）では、回答者全体と比較して 6.6 ポイント低い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（22.9%）では 6.3 ポイント、気仙沼・本吉圏域（23.3%）では 5.9 ポイント低い。

(%)

政策 30 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.8	27.4	29.2	56.8	14.0	70.8	100.0

性別	男性	2.0	29.9	31.9	55.1	13.0	68.1	100.0
	女性	1.6	24.9	26.5	58.5	15.0	73.5	100.0
年齢別	65 歳未満	1.6	22.8	24.4	60.7	14.9	75.6	100.0
	65 歳以上	2.2	40.4	42.6	45.7	11.7	57.4	100.0

圏域別	仙台	0.9	30.7	31.6	51.2	17.2	68.4	100.0
	仙南	1.3	25.4	26.7	58.3	14.9	73.2	100.0
	大崎	1.7	34.1	35.8	52.4	11.8	64.2	100.0
	栗原	2.3	29.7	32.0	55.1	12.9	68.0	100.0
	登米	2.3	29.6	31.9	56.3	11.7	68.0	100.0
	石巻	2.2	20.7	22.9	62.0	15.1	77.1	100.0
	気仙沼・本吉	1.7	21.6	23.3	61.9	14.7	76.6	100.0

有効回答者数 1,596 名

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 39.0%、低認知度群は 61.0%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（71.4%）が 32.4 ポイント、登米圏域（63.6%）が 24.6 ポイント、気仙沼・本吉圏域（50.0%）が 11.0 ポイント高い。

仙台圏域（33.4%）では、回答者全体と比較して 5.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 53.8%、低認知度群は 46.3%である。

(%)

政策 30 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.7	36.3	39.0	53.8	7.2	61.0	100.0	
圏 域 別	仙台	2.6	30.8	33.4	59.8	6.8	66.6	100.0
	仙南	5.4	30.4	35.8	53.6	10.7	64.3	100.0
	大崎	1.3	35.9	37.2	53.8	9.0	62.8	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	9.1	54.5	63.6	36.4	0.0	36.4	100.0
	石巻	4.8	38.1	42.9	47.6	9.5	57.1	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	50.0	50.0	47.4	2.6	50.0	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	6.0	47.8	53.8	43.3	3.0	46.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 30 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 79.5%、低関心度群は 20.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（80.2%）が女性（78.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（86.1%）が 65 歳未満（77.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 30 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	24.1	55.4	79.5	17.5	3.1	20.6	100.0

性別	男性	22.5	57.7	80.2	17.6	2.2	19.8	100.0
	女性	25.3	53.5	78.8	17.4	3.8	21.2	100.0
年齢別	65 歳未満	20.4	56.8	77.2	19.9	2.9	22.8	100.0
	65 歳以上	34.5	51.6	86.1	10.6	3.4	14.0	100.0

圏 域 別	仙台	25.5	55.1	80.6	16.2	3.2	19.4	100.0
	仙南	22.4	54.3	76.7	21.1	2.2	23.3	100.0
	大崎	21.7	59.1	80.8	16.6	2.6	19.2	100.0
	栗原	25.1	57.1	82.2	15.1	2.7	17.8	100.0
	登米	26.1	53.7	79.8	17.9	2.3	20.2	100.0
	石巻	19.9	58.6	78.5	18.2	3.3	21.5	100.0
	気山沼・本吉	26.9	51.3	78.2	16.8	5.0	21.8	100.0

有効回答者数 1,625 名

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 77.6%、低関心度群は 22.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)では 22.4 ポイント、気仙沼・本吉圏域(86.9%)では 9.3 ポイント、石巻圏域(86.3%)では 8.7 ポイント、登米圏域(83.3%)では 5.7 ポイント高い。

仙南圏域(71.4%)では、回答者全体と比較して 6.2 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 89.6%、低関心度群は 10.5%である。

(%)

政策 30 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	17.6	60.0	77.6	19.4	3.0	22.4	100.0	
圏 域 別	仙台	19.7	75.3	22.2	2.6	24.8	100.0	
	仙南	8.9	71.4	25.0	3.6	28.6	100.0	
	大崎	12.8	65.4	78.2	19.2	2.6	21.8	100.0
	栗原	14.3	85.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	25.0	58.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	31.8	54.5	86.3	9.1	4.5	13.6	100.0
	気仙沼・本吉	23.7	63.2	86.9	7.9	5.3	13.2	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	23.9	65.7	89.6	7.5	3.0	10.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策 30 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 47.8%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.3%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.0%と推定できる。

政策 30「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	50.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	60.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.1	(86.9)
満足度 60点未満の割合		60.9
要検討領域にある回答者全体の割合		47.8

有効回答者数；重視度 1,604人、満足度 1,586人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	1604	1586
	欠損値	117	135
平均値		73.85	50.28
平均値の標準誤差		.417	.439
中央値		75.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.697	17.478
分散		278.792	305.489
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	85.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.4	(85.6)
満足度 60点未満の割合		58.7
要検討領域にある回答者全体の割合		44.3

有効回答者数；重視度 334人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	334	332
	欠損値	4	6
平均値		71.17	52.08
平均値の標準誤差		.855	.818
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.629	14.903
分散		244.278	222.103
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	62.5	50.0	12.5
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.2	(90.8)
満足度 60点未満の割合		49.2
要検討領域にある回答者全体の割合		40.0

有効回答者数；重視度 65人、満足度 65人

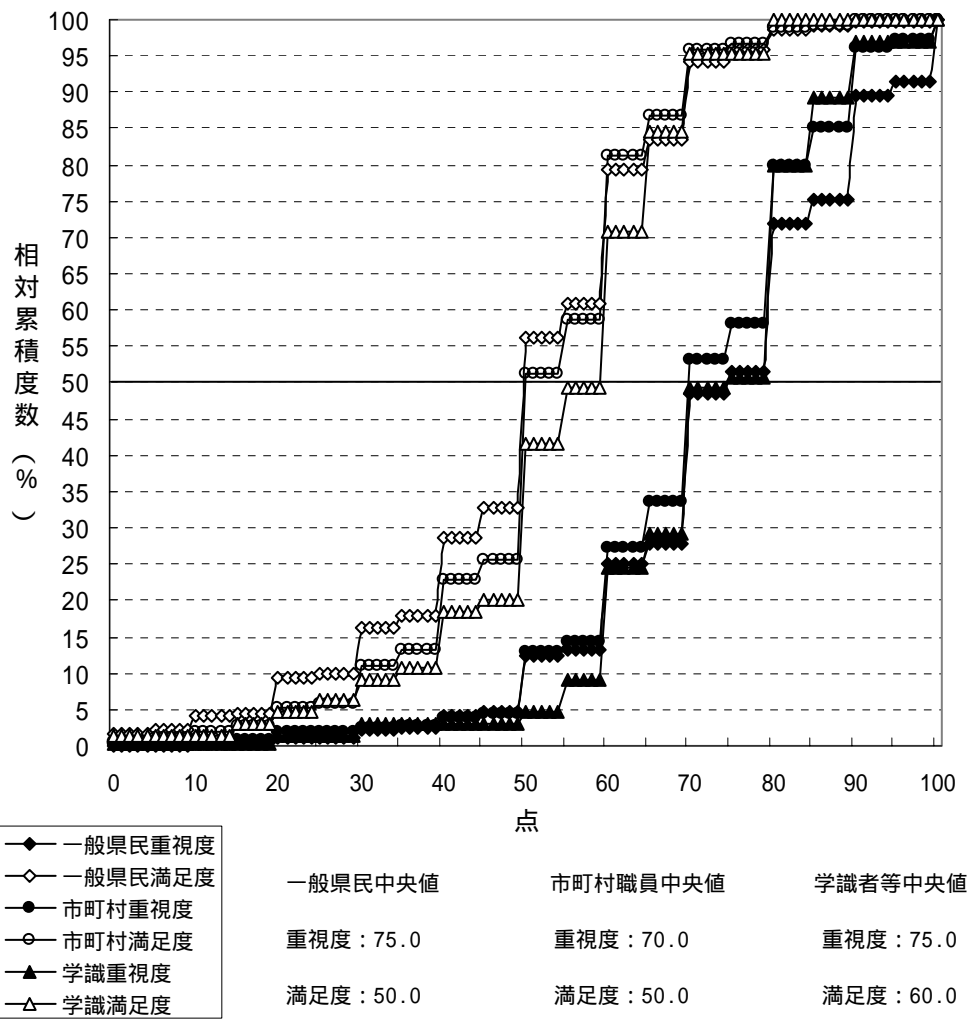
(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	65	65
	欠損値	4	4
平均値		72.69	54.46
平均値の標準誤差		1.758	1.812
中央値		75.00	60.00
最頻値		80	50 ^a
標準偏差		14.172	14.607
分散		200.841	213.377
範囲		80	70
最小値		20	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	62.50	50.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されません。

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

「政策30 地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 75.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 25.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 12.5 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0点)が女性(7.5点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 51.6%、女性 44.1%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

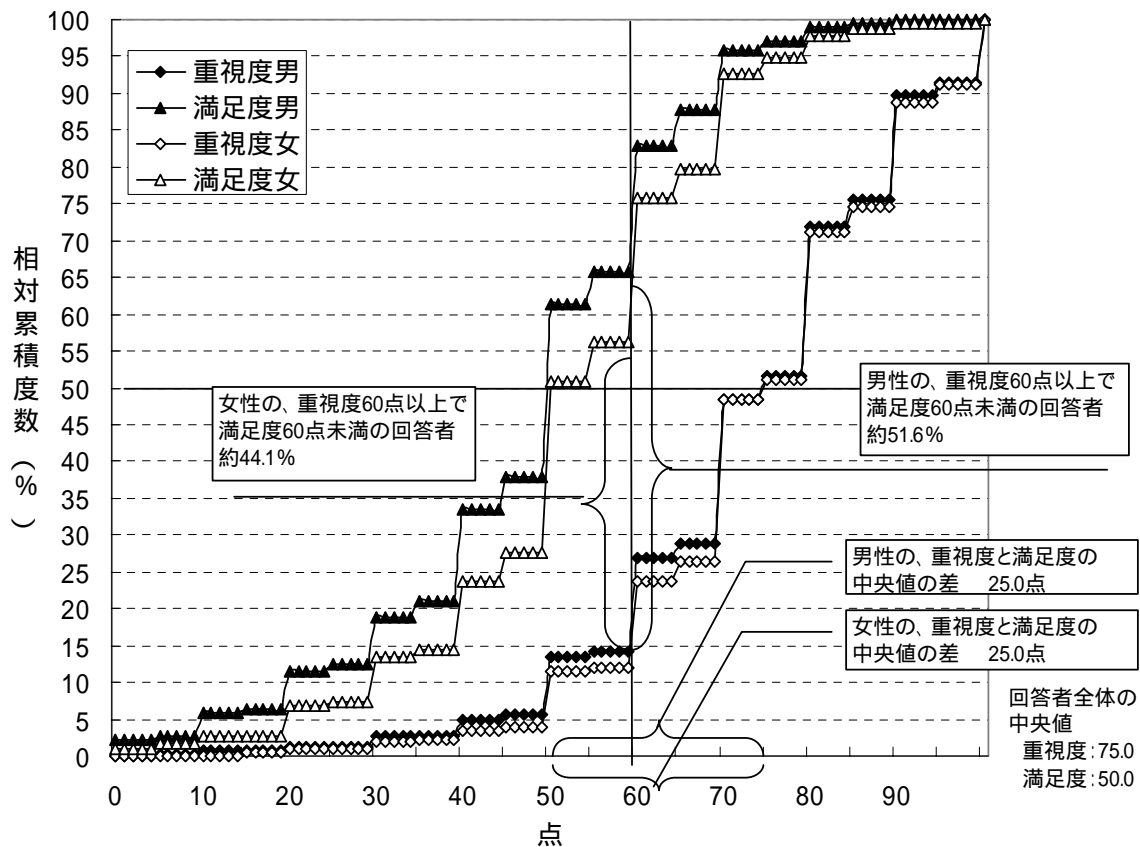
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	75.0	75.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	85.0	85.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	12.5	12.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	14.2 (85.8)	12.1 (87.9)
満足度 60 点未満の割合	65.8	56.2
要検討領域にある回答者全体の割合	51.6	44.1

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	767	761
	欠損値	36	42
平均値		73.39	47.92
平均値の標準誤差		.623	.642
中央値		75.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.241	17.697
分散		297.241	313.189
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	50.00
	75	85.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	819	808
	欠損値	77	88
平均値		74.37	52.65
平均値の標準誤差		.569	.593
中央値		75.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.292	16.852
分散		265.428	283.991
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（80.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも小さい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 48.8%、65 歳以上 44.8%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

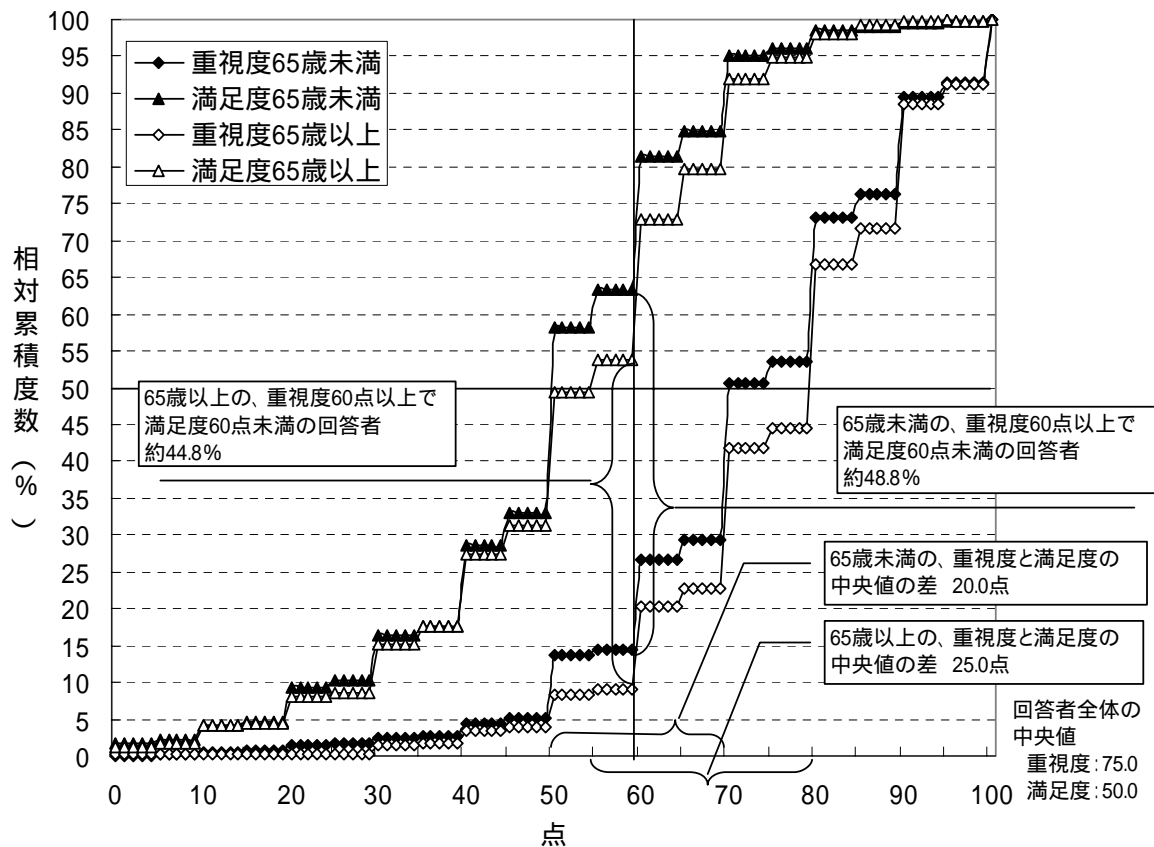
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	75.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	25.0	20.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	30.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	85.0	85.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	25.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	14.5 (85.5)	9.0 (91.0)
満足度 60 点未満の割合	63.3	53.8
要検討領域にある回答者全体の割合	48.8	44.8

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	1183	1173
	欠損値	57	67
平均値		73.10	49.80
平均値の標準誤差		.498	.504
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.138	17.261
分散		293.715	297.933
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	85.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	401	394
	欠損値	56	63
平均値		76.21	52.04
平均値の標準誤差		.766	.898
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	60
標準偏差		15.349	17.822
分散		235.596	317.634
範囲		70	95
最小値		30	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(80.0点)、石巻圏域(80.0点)の2圏域が回答者全体(75.0点)よりも5ポイント高く、大崎圏域(70.0点)、仙南圏域(70.0点)、気仙沼・本吉圏域(70.0点)の3圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(7.5点)が回答者全体(12.5点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(8.8点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(80.0点)、石巻圏域(80.0点)の2圏域が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、登米圏域(75.0点)、気仙沼・本吉圏域(75.0点)の2圏域が5ポイント高い。

満足度の中央値は、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の2圏域が10ポイント、仙台圏域(55.0点)、大崎圏域(55.0点)の2圏域が5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(9.4点)、大崎圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)、栗原圏域(5.0点)の4圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)、仙南圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)の3圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、登米圏域(6.9点)、大崎圏域(5.0点)、栗原圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	75.0	75.0	70.0	70.0	80.0	77.5	80.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	20.0	15.0	30.0	27.5	30.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	65.0	60.0	60.0	65.0	65.0	70.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	42.5	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	25.0	20.0	15.0	22.5	25.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	85.0	90.0	85.0	85.0	90.0	90.0	85.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	30.0	25.0	20.0	30.0	30.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	7.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	8.8	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	75.0	80.0	75.0
	満足度	50.0	55.0	50.0	55.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	15.0	20.0	15.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	65.0	70.0	65.0	65.0	60.0
	満足度	45.0	45.0	40.0	50.0	50.0	55.0	30.0	40.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	15.0	20.0	10.0	35.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	83.8	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	68.8	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	7.5	5.0	9.4	7.5	12.5
	満足度	7.5	7.5	10.0	5.0	5.0	6.9	15.0	10.0

4. 政策 30 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 5 「快適な居住環境の整備」(48.7%) である。

第 2 位は施策 1 「各地域の中心都市の整備」(16.7%) である。

第 3 位は施策 3 「中心市街地の活性化」(15.9%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 5 「快適な居住環境の整備」(42.1%) である。

第 2 位は施策 3 「中心市街地の活性化」(19.1%) である。

第 3 位は施策 1 「各地域の中心都市の整備」(18.5%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 5 「快適な居住環境の整備」(29.9%) である。

第 2 位は施策 1 「各地域の中心都市の整備」(25.4%) である。

第 3 位は施策 3 「中心市街地の活性化」(16.4%) と施策 4 「良好な市街地の形成」(16.4%) である (施策 3 と施策 4 が共に第 3 位になっている)。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 5 「快適な居住環境の整備」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」、栗原、登米の 2 圏域では施策 1 「各地域の中心都市の整備」である。

第 3 位は、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「各地域の中心都市の整備」、仙台、登米の 2 圏域では施策 4 「良好な市街地の形成」、栗原圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」、である。

市町村職員では、

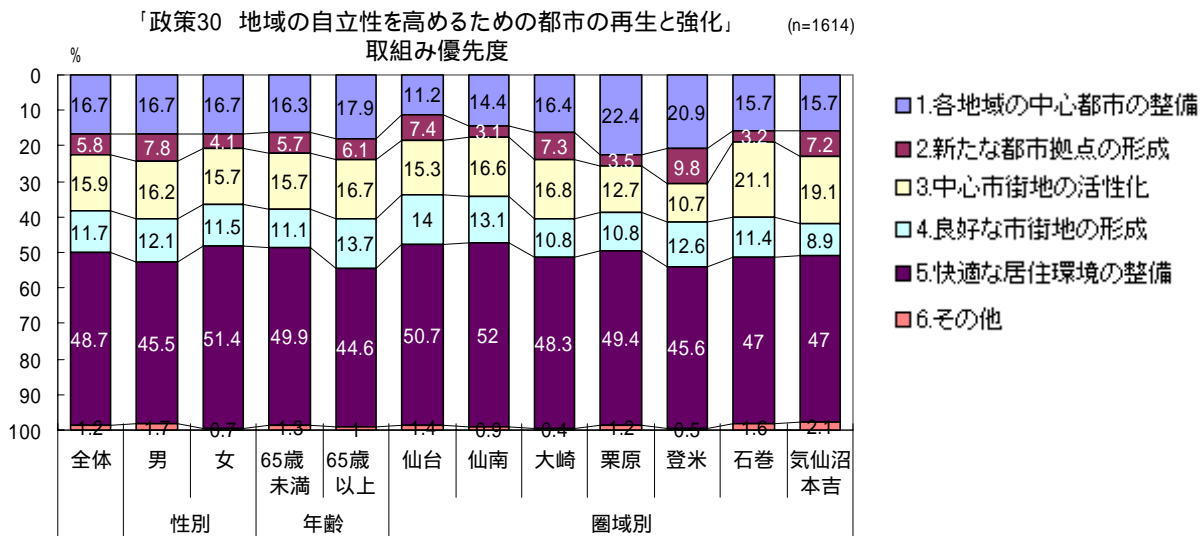
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 5 「快適な居住環境の整備」、栗原圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」である。

第 2 位は、仙台、仙南、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「各地域の中心都市の整備」、仙台、栗原の 2 圏域では施策 4 「良好な市街地の形成」、栗原圏域では施策 2 「新たな都市拠点の形成」と施策 5 「快適な居住環境の整備」である（仙台圏域では施策 3 と施策 4 が、栗原圏域では施策 1 と施策 2 と施策 4 と施策 5 が、気仙沼・本吉圏域では施策 1 と施策 3 が共に第 2 位になっている）。

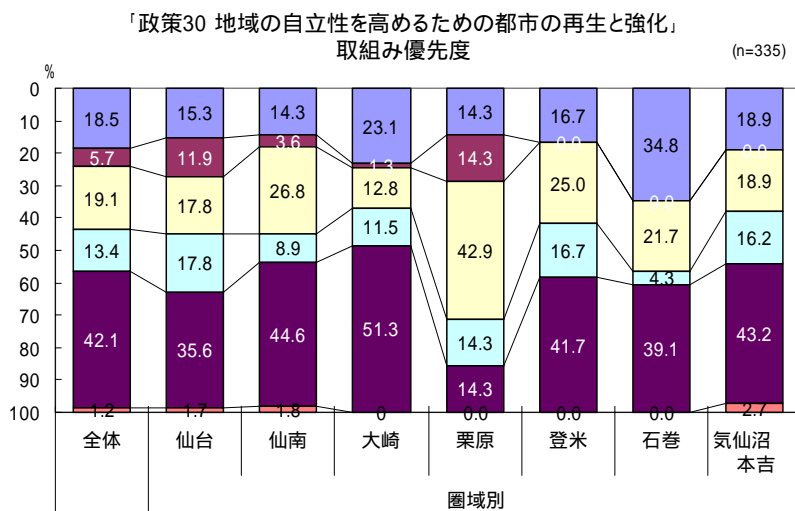
第 3 位は、仙南、登米の 2 圏域では施策 1 「各地域の中心都市の整備」、大崎、石巻の 2 圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」、登米圏域では施策 4 「良好な市街地の形成」である（登米圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 3 位になっている）。

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

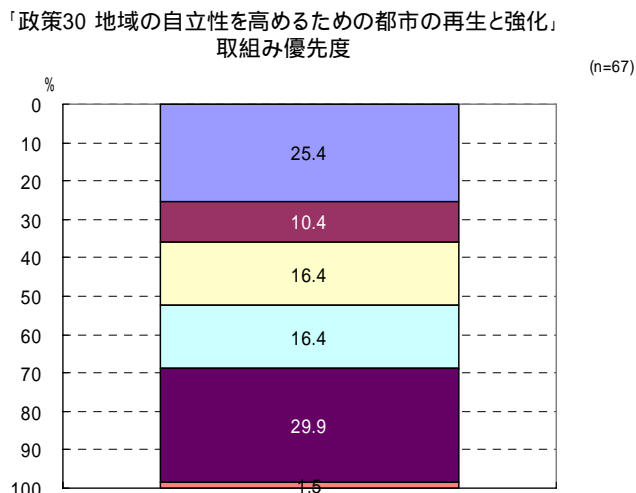
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.各地域の中心都市の整備	16.7	16.7	16.7	16.3	17.9	11.2	14.4	16.4	22.4	20.9	15.7	15.7
2	2.新たな都市拠点の形成	5.8	7.8	4.1	5.7	6.1	7.4	3.1	7.3	3.5	9.8	3.2	7.2
3	3.中心市街地の活性化	15.9	16.2	15.7	15.7	16.7	15.3	16.6	16.8	12.7	10.7	21.1	19.1
4	4.良好な市街地の形成	11.7	12.1	11.5	11.1	13.7	14.0	13.1	10.8	10.8	12.6	11.4	8.9
5	5.快適な居住環境の整備	48.7	45.5	51.4	49.9	44.6	50.7	52.0	48.3	49.4	45.6	47.0	47.0
6	6.その他	1.2	1.7	0.7	1.3	1.0	1.4	0.9	0.4	1.2	0.5	1.6	2.1

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.各地域の中心都市の整備	18.5	15.3	14.3	23.1	14.3	16.7	34.8	18.9
2	2.新たな都市拠点の形成	5.7	11.9	3.6	1.3	14.3	0.0	0.0	0.0
3	3.中心市街地の活性化	19.1	17.8	26.8	12.8	42.9	25.0	21.7	18.9
4	4.良好な市街地の形成	13.4	17.8	8.9	11.5	14.3	16.7	4.3	16.2
5	5.快適な居住環境の整備	42.1	35.6	44.6	51.3	14.3	41.7	39.1	43.2
6	6.その他	1.2	1.7	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.各地域の中心都市の整備	25.4
2	2.新たな都市拠点の形成	10.4
3	3.中心市街地の活性化	16.4
4	4.良好な市街地の形成	16.4
5	5.快適な居住環境の整備	29.9
6	6.その他	1.5

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」